

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	京都スパシアム就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4 階
電話番号	0 7 5 - 8 1 1 - 8 0 5 6

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所：京都スパシアム就労支援センターししん

実施概要：昨年（R5）10月、当施設の長年の取引先である中央砂糖株式会社の阿部社長から「観光客も増えてきたのでここで当社の主力商品である京野菜飴を強力に売り出した。については何かいいアイデアはないか？」との話があり、早速当施設長以下職業指導員やコンピュータ事業部で働くA型利用者が集まり販促会議を開催した。当施設関連会社のホームページでの広告その他多数意見が出た中で、当事業所が得意とする「刺し子ふきんを使った京野菜コースター」を作り京野菜飴のおまけとしてセットで販売するという提案が阿部社長に採用された。

利用者数：A型利用者3名、B型利用者6名

<活動の様子>



【阿部社長を囲んでの販売促進会議の様子（左側写真）】

令和5年10月、阿部社長をお招きし、A型利用者が中心となり販売促進会議が開催されました。京野菜のコラボ商品を制作しセットで販売、京野菜のブランドごとのキャラクター制作、京野菜飴の広告宣伝ビラの作成などいろいろと意見が出ましたが、最後は阿部社長の「鶴」？の一声で「京野菜コースターをセットで販売」に決定しま

<目的>

地域連携活動のねらい

(1)地元企業に対する感謝の気持ち

当施設は障害者就労継続支援事業所として、利用者に働く場や訓練の場を提供することで障害者の職業スキルアップ、日常生活における自立等に取り組むものであるが、多くの場面で地元の企業に支えられてきたことを実感している。利用者も含め当施設としては、何らかの形で取引先をはじめ地元企業の手助けをすることで感謝の気持ちを伝えたいとかねがね考えている。

(2)地域に根ざした施設として定着

活動の基盤となる地域や地元企業とは、あらゆる機会を生かして連携を図り微力ながら貢献したい。今回の活動もその一つであり、このような地道な活動を継続することで真に地域に根差した施設として地域に定着し、同時に利用者の地域での居場所と充実した日常生活の確保につなげたいと考えている。

<成果>

京野菜飴の売上は好調で、京野菜刺し子コースターも来日外国人から「ベリー・プリティー！」と好評である。今回の活動でA型利用者のみならずコースターの制作にかかわったB型利用も、地元企業との連携活動の流れを実体験することで、地域に貢献できたとの充実感、達成感を実感することができ自信にもつながった。今後も地道な活動を継続することで地域連携の輪の拡大に努めたい。

【京野菜コースターの縫い付け作業の様子（左側写真）】

令和5年11月、A型利用者が中心に加茂ナス、聖護院大根、丹波黒豆などのブランド京野菜を圖案化しました。B型利用者は圖案を見ながら、それぞれの野菜に合った色合いの糸を使い、晒を重ねた布製コースターに京野菜を縫い付けました。



【完成した京野菜コースターと京野菜飴（左側写真）】

左下の図柄は「加茂トマト」、右下は「金時人参」、中央上方は「鹿ヶ谷カボチャ」を刺繍したコースターです。鹿ヶ谷カボチャを担当した利用者（25歳女性）は「これカボチャでわかるかな？難しいわ」と言いながら真剣な表情で取り組んでいまし

連携先の企業等の意見または評価

シシンさんにはいつも弊社の商品である飴など食品類の袋詰めなどの作業をお願いしているところです。シシンさんの仕事は迅速丁寧で、衛生面の管理も徹底しており信頼できるパートナーとして長年お付き合いさせていただいております。

今回は、ようやく回復傾向が見え出した観光客対し、弊社の主力商品である「京野菜飴」の販売促進を考えシシンさんに話を持ち掛けたところ「ぜひ協力させていただきたい」と快く応じていただいたものです。京野菜飴は「なす」「きゅうり」「九条ねぎ」など京都を代表する8種類の野菜のエキスを練りこんだ人気商品ですが、シシンさんではまず京野菜8種類について、それぞれにかわいらしいデザイン画を作成、そのデザインを基にさらに縫込み色鮮やかなコースターを完成させました。京野菜をあしらった刺し子コースターは、外国人観光客からも大変に好評で商品のおまけとしてサービスしたところ順調に売り上げを伸ばしています。手間のかかる刺し子という作業を迅速丁寧に仕上げる技術の高さに感じました。

中小企業は不況の影響をともに受けて経営の安定と成長には非常に困難なものがあります。自社の商品には大いに自信を持っていますが、商品力だけではいかんともできないところもあります。身近に連携し相互に助け合う関係の存在は何物にも代えがたいものだと思います。今後ともよろしく願いいたします。

連携先企業名	中央砂糖株式会社	担当者名	阿部勲
--------	----------	------	-----

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	スパシウム京都就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4階
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

活動場所：葉膳カフェ「雅」2階及び利用者自宅

実施日程：令和5年度通年実施

実施概要：オンラインそろばん教室の講師育成に向けた

- ①新任講師集中研修（採用後1カ月間）
- ②元京都珠算振興会常務理事浦とみえ顧問による特別授業（現場指導2回、オンライン指導2回）
- ③担当職員と利用者（在宅）によるチームズ（オンラインソフト）を使った模擬授業などを実施した。

利用者数：5人

<目的>

講師候補として採用した利用者は、いずれも珠算上級者であるが、ランクが長く再教育により珠算能力のレベルアップを図った。加えてオンライン授業に特有の知識技能の他、幼児や児童を飽きさせないための工夫など様々な状況を想定した模擬授業を行い実践に備えた。

<成果>

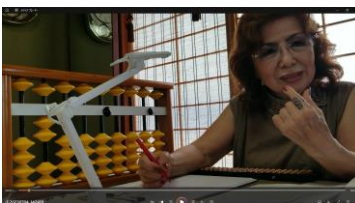
長年現場指導に携わってきた顧問の先生から直接指導を受けることで、各人が課題ごとの指導要領を習得した。また、デジタル面でのトラブルが続発し苦労はしたものの、一つ一つ解決策を模索する中で、関連する知識技能のレベルアップはもとより、講師（利用者）間の連帯意識やチームワークが醸成され本番に向けての自信に繋がった。

<活動の様子>



【新任講師研修会】令和5年4月
「オンラインそろばん教室ししん」の基本理念、授業方針、講師の心得、在宅勤務要領、デジタル教材使用要領その他基本的事項を3日間の日程でみっちり学びました。（写真左）

【顧問の特別授業】令和5年5月
「ししん」に顧問をお迎えしての特別授業を実施しました。長年の幼児・児童に対する指導経験で培った指導上のポイントや貴重なお話を伺いました。講師から質問が相次ぎ、予定時間を大幅にオーバーするなど真剣な取り組み姿勢が伝わってきました。（写真右）



【オンラインによる講師研修会】
令和5年6月
顧問と講師それぞれ自宅からのオンライン研修を2日間実施しました。各級ごとの課題に対する指導要領を具体的に教わりました。講師からは「不安が解消し自信が持てた。」と喜びの声も

連携先の企業や事業所等の意見または評価

「小学校以来そろばんに触れていない」という方が多く、まずは「勘」を取り戻すところからのスタートで大変ご苦労されたことと思います。幼児や児童の指導は根気と指導技量を必要とします。その子の理解力や性格に応じ教え方を工夫したり、飽きさせないように指導にメリハリを持たせることも重要です。ましてオンラインでは直接手を取って教えることもできず歯がゆい思いをすることと思います。障害のある皆さんにとって、オンラインでのそろばん指導が大変な困難を伴うものであろうことは想像に難しくありません。しかし、苦労の末に生徒の成長と上達の喜びを共有できる講師という職業は、やり甲斐があり一生の仕事とする価値のある職業であると思います。どうかこの先、困難に挫けることなく頑張ってくださいと思います。

連携先企業（担当者）

元京都珠算振興会常務理事、浦珠算塾塾長（浦とみえ）

利用者からの意見・評価

昨年、A型事業所の「在宅で働けるオンラインそろばん講師」募集を見つけました。小学校で珠算2級に合格したものの、それ以後うん十年、そろばんに触れることなく電卓にお世話になってきた私です。大変おこがましいとは思いつつも「在宅勤務」に魅力を感じ応募したところありがたく採用してもらいました。これまでの人生で、何事につけ教わる側に徹してきた私に子供の指導なんてできるのだろうか？と不安でいっぱいでしたが、しっかりと長めの研修期間をとっていただき、その間にベテランの先生からの実践指導、他の利用者さんを生徒に見立てたオンラインでの模擬授業、授業で使用するための教材やホームページに掲載する指導動画の制作等々、さんざんそろばんにかかわる時間を持たせていただき自信めいたものが湧き上がってまいりました。いよいよ春から実際に生徒さんの受け入れが始まります。どうなるか分かりませんが頑張ります。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	スパシアム京都就労支援センターししん
住 所	京都市下京区立中町502四条ファーストビル4階
電話番号	075-811-8056

事業所番号	2610481133
管理者名	佐久間雅美
対象年度	令和5年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		-20
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	○	

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
110点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和 5 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	12,416	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,040	人	利用者の 1 日の平均労働時間数	6	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	------------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（9 月～8 月）

前々々年度（令和 2 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-834,287	円	利用者に支払った賃金総額	8,272,737	円	収支	▲ 9,107,024	円
-----------------	----------	---	--------------	-----------	---	----	-------------	---

前々年度（令和 3 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	2,027,847	円	利用者に支払った賃金総額	8,931,768	円	収支	▲ 6,903,921	円
-----------------	-----------	---	--------------	-----------	---	----	-------------	---

前年度（令和 4 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	2,839,318	円	利用者に支払った賃金総額	11,683,835	円	収支	▲ 8,844,517	円
-----------------	-----------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（5 年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☐
------------------------------	--------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（5 年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を 1 回以上実施している	☒
※研修名	ピアサポートについて
研修講師	山田 泰輔
実施日・受講者数	12 月 11 日 7 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において 1 回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	京都中央看護保健大学校
実施日/参加者数	8/29～8/30 2 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上参加している	☒
※商談会等名	祇園阿部屋とのコラボ商談会
主催者名	合同会社シン
日時	令和5年1月30日
内容	祇園阿部屋の京野菜館とのコラボ商品（京野菜パワーストーンネックレス）の開発とあべや店頭での販売を協議

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	R3 年 4 月 1 日
人事評価制度の対象職員数	10 名
うち昇給・昇格を行った者	昇給4名 昇格3名
当該人事評価制度の周知方法	職員会議において教養を実施

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISO が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☒
※受理日	令和 5 年 11 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。